

社会科学習指導案

授業者 ○○ ○○

- 1 学年・学級 第3学年2組 39名（男子25名 女子14名）
- 2 単元名 歴史的分野 第6章 二度の世界大戦と日本
3節 第二次世界大戦と日本（東京書籍）
- 3 単元について

（1）単元観

本単元は、歴史的分野（5）「近代の日本と世界」について扱った題材である。内容は、カ「経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを通して、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。」から構成されている。又、その取扱いは、「世界の動きと我が国との関連に着目して取り扱うとともに、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付かせるようにすること」とある。

グローバル化により今日の社会は、多様な社会的事象に主体的に対応する必要がある。本単元では、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培うことができると考えている。

（2）生徒観 ※省略

（3）指導観

基礎の定着を図るために、授業の導入ではペアワークシートを使い重要語句を確認したり、毎授業後には宿題プリントを実施している。

指導にあたっては、生徒の学習意欲を高めることを第一に、授業を展開していきたい。この単元は小学校での社会の授業や平和学習などを通して漠然とした知識は持っている。ただ、第二次世界大戦が起こった原因や、日本がその戦争とどのような立場に関わり、終戦を迎えたかなどについての理解は深くないと考えられる。単元など内容のまとまりを見通した「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで、社会的事象などの意味や意義、特色や相互の関連などを考察したり、まとめさせたりしていきたい。

4 単元の目標

- 第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えさせる。
- 第二次世界大戦と日本について、多角的な視点から考察し、自分の考えをまとめ、表現することができる。

5 単元（題材） の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
<p>①ユダヤ人迫害など、戦争の名の下に行われた行為について関心を持ち、平和を希求する態度を持っている。</p> <p>②第二次世界大戦と日本の関わりについて、学習内容を関連づけたり、まとめることができる。</p>	<p>①ファシズムと反ファシズムの主張を調べ、自分の意見を述べている。</p> <p>②当時の日本の政府や軍部の主張などを批判的に読むなど、公正な立場で考え、自分の意見を述べている。</p>	<p>①「第二次世界大戦中のヨーロッパ」「太平洋戦争」を用いて、戦争の拡大の様子を読み取っている。</p> <p>②文章資料などから、当時の日本の民衆の願いや思いを読み取っている。</p>	<p>①第二次世界大戦の原因・経過・結果について、理解している。</p> <p>②太平洋戦争における戦時下の日本の民衆の生活について、理解している。</p>

6 指導と評価の計画（全6時間）

次	学習内容（時数）	評価計画					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	第二次世界大戦の始まりを理解する（1）	○	◎		○	エ①ヨーロッパで起こった戦争の原因・経過を理解している。 イ①日独伊三国同盟を結んだ日本の行動について、国際的な視野を踏まえて自分の意見を述べている。 ア①ドイツの占領で、レジスタンスが行われたことを理解している。	行動観察 ノート 発表
2	太平洋戦争の開始について考察する（1）			◎	○	ウ①戦争に対して、資源や国力の差について、具体的な資料を基に考えている。 エ②太平洋戦争勃発のきっかけやその後の経過について、概要を理解している。	行動観察 ノート 発表
3	戦時下の人々の暮らしについて理解する（1）				◎	エ②日本国内のみでなく、植民地や占領地における状況を理解している。 ウ②学徒出陣や疎開など、戦争の影響は国民生活のすみずみに及んでいたことを資料から読み取る。	行動観察 ノート 発表
4	戦争の終結について考察する（1）		◎		○	エ①イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。 イ②戦争と国民について関心を持ち、自分の意見を述べている。	行動観察 ノート 発表
5	第二次世界大戦と日本の関わりについてレポートを作成する（1）	◎			○	ア②既習内容から複数の資料を活用し、関連づけることができる。 エ①第二次世界大戦の原因・経過・結果について、理解している。	行動観察 レポート
6	第二次世界大戦と日本の関わりについてレポートを発表する（1） 本時	◎	○			イ②第二次世界大戦と日本の関わりについて、意見を述べている。 ア②第二次世界大戦と日本の関わりについて、他者の意見を参考に、自分の考えを広げたり深めることができる。	行動観察 レポート ワークシート 発表

7 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ 第二次世界大戦と日本の関わりについて、既習内容と関連づけまとめることができる。

- ・ 他者の発表から，第二次世界大戦と日本の関わりについて，多角的な視点をもつことができる。

(2) 観点別評価規準

- ・ 第二次世界大戦と日本の関わりについて，自分の意見を述べている。(イ②)
- ・ 第二次世界大戦と日本の関わりについて，他者の意見を参考に，自分の考えを広げたり深めることができる。(ア②)

(3) 準備物

教科書，資料集，ノート，レポート，ワークシート，TVモニター，タブレット

(4) 身に付けさせたい資質・能力

- ・ 主体性（主体的に考え，自ら行動できる力）
- ・ 協働性（協働し，互いに高めあう力）

(5) 学習の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (○) 「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て (●)	評価規準 (評価方法)
導入	1 重要語句の確認をする。 [協同学習：ペア学習]	○ペアワークシートで重要語句の確認をする。	
	2 本時のめあてを確認する。		
第二次世界大戦と日本の関わりについて根拠をもって説明ができる			

3 グループの発表者がレポートでまとめたことを発表する。〈計10人〉
○班では前時に、次の3つのテーマから1つを選択させ、協働学習を通して、レポートをまとめさせている。

【協働性の育成】

- (A) 第二次世界大戦と日本の関わりについて
- (B) 戦時下の国民や植民地、占領地の人々の生活について
- (C) 戦争の終結に向けた日本の歩みについて

○発表時には、タブレットを使い、レポート内容を前のモニターに映し出す。

○発表を聞く際は、参考になったことや、良かった所をワークシートに記入する。

〈予想される発表内容〉

- (A) ・日独伊三国同盟を結んでいた日本が、A B C D包囲陣で経済封鎖され、早期開戦を決意した。そして真珠湾を奇襲攻撃して太平洋戦争が始まった。最初は占領地を拡大したが、ミッドウェー海戦の敗北が大きな転換点となった。その後、本土空襲や沖縄戦をへて、広島と長崎に原爆が投下され、ポツダム宣言を受け入れることで降伏した。
 - ・日本の主な戦場は太平洋であった。大東亜共栄圏をつくり、アジア各国の欧米植民地からの解放をうたい、戦争当初は占領地を拡大した。しかし、資源や戦力の面でアメリカと比べると圧倒的に不利で、戦争の長期化とともに敗退を重ねていった。
- (B) ・太平洋戦争では総力戦として国民に大きな負担がのしかかった。大学生は学徒出陣で軍隊に召集され、女学生や中学生も軍需工場で働かされた。また、都市の小学生は集団疎開するなど、戦争の影響は国民生活のすみずみに及んだ。
 - ・日本は植民地や占領地でも、厳しい動員を行い、多くの犠牲を伴った。
- (C) ・同盟国であるイタリアやドイツの降伏、サイパン島の陥落により日本は苦境に立っていった。本土空襲や沖縄戦では多数の民間人が犠牲になった。
 - ・日本の敗戦を決定づけたのは、広島と長崎に原爆が投下されたことや、ソ連が中立条約を破って参戦したことである。

ア②第二次世界大戦と日本の関わりについて、他者の意見を参考に、自分の考えを広げたり深めることができる。
(ワークシート)
(行動観察)
(発表)

	<p>4 個人思考をする。 ○発表者の意見から、最終的に自分の考えをまとめる。</p> <p style="text-align: center;">【主体性の育成】</p>	<p>●行動観察し、ワークシートに記入させる際はキーワードや、感想を書くよう適切に助言していく。</p> <p>○第二次世界大戦と日本の関わりについて、他者の発表を聞いた上で、もう一度ワークシートにまとめる。</p> <p>●行動観察し、参考になった人の発表を考えさせ、まとめさせる。</p> <p>○まとめたことを発表してもらう。</p>	<p>イ②第二次世界大戦と日本の関わりについて、自分の意見を述べている。 (ワークシート) (行動観察) (発表)</p>
<p><予想される生徒のまとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は資源や戦力面で圧倒的に不利であったに関わらず、長期戦を展開し、結果国民に多くの犠牲者がでた。 ・第二次世界大戦において、日本は大東亜共栄圏を掲げ、アジアの欧米からの植民地を解放していくという名目で占領地を拡大していった。 			
	<p>5 生徒の発表から学習のまとめをする。</p>	<p>○生徒の発表ででたキーワードを捨て、つないでいく。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>6 本時を振り返る。 ○振り返りを記入し、発表する。</p>	<p>○第二次世界大戦と日本の関わりについて、この学習の意義を振り返らせる。まとめを聞いての感想でも良い。</p> <div data-bbox="619 1205 1390 1576" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※生徒の振り返りの例</p> <p>○第二次世界大戦における世界の中の日本の位置や、軍部の台頭から無謀な戦争へと発展した。第一次世界大戦の反省にたつことができなかった。</p> <p>○なぜ日本が原子爆弾や沖縄戦など多くの犠牲を強いられたかその歴史の過程がわかった。もう二度とこのような過ちを繰り返してはいけないと思った。</p> </div> <p>○次時では戦後の日本の歩みについて学習することを知らせる。</p>	